

東アジアにおける火葬の受容について

☆「火葬＝仏教」か？

- ・火葬がインドに由来し、仏教とともに伝来してきたものであることはいうまでもない。
(末木文美士『日本仏教史』新潮社 1,996.9)
- ・浮屠ノ教法ニ出テ、野蛮ノ陋躰ヲ存シ慘劇ノ甚敷モノニシテ人類ノ忍ヒ難キ処
(「火葬禁止令」へむけた太政官の見解)
- ・天下火葬從此而始(『続日本紀』巻第一 文武天皇四年(700)三月 僧道昭物化の件)

特定の宗教思想(仏教)に起因する葬法なのか？

より普遍性のある葬法なのか？

☆「火葬(遺体損壊)の忌避」

- ・古代オリエント系宗教(ユダヤ・キリスト・イスラム)の遺体保存志向
- ・漢族における火葬忌避(儒教を介して日本にも影響→火葬禁止令)

特定の宗教思想に起因するのか？

より普遍的なものなのか？

☆ 遺体腐食(死穢)への対応

- ①脱肉骨化……土(風)葬後改葬・火葬(随煙昇天)
- ②防腐→遺体保存(古代支配層遺体・近現代革命指導者遺体・エンバーミング)

I. 古代インドの火葬

- ・釈迦荼毘……図①(大迦葉接足礼拝)
- ・火葬(随煙昇天)→散骨

II. 東アジアにおける火葬

- ・古代火葬遺跡・神話・文献に残る火葬の記述
- ・周辺諸族の火葬と中華拡大
- ・支配層の火葬忌避と儒教道徳

○遺族による「死の受容」

・悲嘆のプロセスの12段階

……『死とどう向き合うか』（アルフォンス・デーケン 2011. 9 NHK出版）

- ① 精神的打撃と麻痺状態
- ② 否認 —— 「死ぬはずがない。生きている！」
- ③ パニック
- ④ 怒りと不当感
- ⑤ 敵意とルサンチマン（恨み） —— やり場のない感情を周囲にぶつける。
- ⑥ 罪意識
- ⑦ 空想形成・幻想
- ⑧ 孤独感と抑鬱
- ⑨ 精神的混乱とアパシー（無関心）
- ⑩ あきらめ——受容
- ⑪ 新しい希望——ユーモアと笑いの再発見
- ⑫ 立ち直りの段階——新しいアイデンティティーの誕生

○死穢

- ・ロマン・ポランスキー『反撥』
- ・監察医務院との交流
- ・「穏亡」と「火夫」
- ・死に関わる場所——火葬場・墓場・葬祭場